

研究構想シート		学校名	安来市立安田小学校
		氏名	池永 馨子
A 研究主題 つながり合って 学びを深める子どもの育成			
B 研究の目的 「対話的な学び」により考えを深め、自ら語りだす子どもの姿をめざして（道徳科を中心に）			
<p>C 子どもの実態</p> <p>○素直で明るく子どもらしい。 ○やるべきことに真面目に取り組む。 △我慢強さ、やり抜く力が弱い傾向がある。</p> <p>○集団での活動時は高学年がリーダーとなって手本を示し、自ら進んで工夫して取り組む姿が多く見られる。下学年がその姿にあこがれをもち、真似ようとする姿もみられる。 ○上学年が下学年の面倒をよく見てくれて、複数の学年で誘い合って遊ぶ姿も多く見られ、全体的には仲が良く、あたたかい雰囲気がある。 △自分の思いを相手に理解できるように伝えることや友達の気持ちや置かれている状況を想像して場にあった行動や言葉かけをすることがうまくできない子もいてトラブルになることがある。 △自己決定を避け、何となく周囲に同調してしまい、自分の考えをはっきりとつとていくことができない面もある。</p>	<p>E 手立て・内容（研究仮説）</p> <p>【どの子も学習課題（めあて）に取り組めるための工夫】</p> <p>(1) めあて（テーマ）の明確化 (2) ねらいに迫る中心発問の吟味 (3) 教材提示の工夫（NHK for Schoolやデジタル教科書の活用も）</p> <p>【つながり合って学ぶための工夫】</p> <p>(1) 対話の場の工夫 (2) 中心発問での「問い返し」の工夫</p>	<p>D めざす子どもの姿</p> <p>【つながり合って学びを深める姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員がめあてを共有して、全員参加で意見交流をしている。 ・教師も子どもも発言をしっかりと「聴く」姿勢をもっており、発言が受け入れられている。 ・友達の意見や考えを聴いて、ものの見方や考え方を広げたり考えたりしようとする。 ・対話を通して考えたり気づいたりしたことを自分なりの言葉で表現しようとする。 	
	<p>F 検証方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一研究授業（道徳科を中心に） <p>指導案検討・研究授業・研究協議 実践を積み重ね、対話と振り返りを柱とした研究協議を行い、授業改善をしていく。</p> <p>研究授業では、参観者は、子どもと子ども、子どもと教師の対話を記録しながら参観する。 研究協議では、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「子どもに何を学ばせたかったのか」を共有する。 ②「教えたかったことを子どもたちが学んでいたか（子どもたちが何をどう学んだか）」を授業記録を中心に協議する。 ③「教師の手立て（中心発問・問い返し・話し合いの場の工夫）」は適切だったかを協議する。 ④子どもを見る目を鍛え、子どもの成長やいいところに気づき合い、励まし合い高め合う教職員集団をつくっていく。 		
	<p>G 研究計画</p> <p>4月 研究の取り組み作成・提案 教職員アンケート</p> <p>5月 研究計画の作成・提案</p> <p>6月～12月 一人一研究授業 研究収録作成について起案</p> <p>1月 今年度の研究のまとめ 2月 研究収録作成 3月 次年度の研究についての話し合い・引継ぎ</p>		